

事務事業名	市有自動車購入・台帳管理事務				担当	総務部 企画課 管財係			
政策名	G	効率的で市民にわかりやすいまちづくり				増補版施策名			
施策名	4	健全な財政運営				☐ 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	☐ 単年度のみ			
法令根拠						☒ 単年度繰返（開始年度 昭和56 年度～）			
予算科目	1.一般会計	2.総務費	1総務管理費	5財産管理費		☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
事業概要	公用車の一括購入事務を行う。購入・廃車以外に譲与等を含めた公用車の台帳を作成・管理する。								

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 29年度実績 各課で計上した車両購入予算について、企画課で一括して納入業者、納入車の選定、納車までの予算執行・契約事務を行う。購入・廃車以外に譲与等を含めた公用車の台帳を管理する。 30年度計画 各課で計上した車両購入予算について、企画課で一括して納入業者、納入車の選定、納車までの予算執行・契約事務を行う。購入・廃車以外に譲与等を含めた公用車の台帳を管理する。	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称		単位	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(見込)
	ア	購入した公用車台数	台	9	5	6	7	6
	イ	廃車した公用車台数	台	10	6	9	13	6
	ウ	公用車台帳登録台数	台	230	229	226	220	220
	エ							
②対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等 公用車。ただし、一括購入に向かない特殊車両は除く	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称		単位	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(見込)
	ア	購入車両台数	台	9	5	6	7	6
	イ							
	ウ							
	エ							
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 一括購入することにより、事務の簡素化、購入経費の削減を図る。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称		単位	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(見込)
	ア	安価に購入できた台数	台	9	5	6	7	6
	イ							
	ウ							
	エ							
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 事務の簡素化、経費の削減。 (事業費の実績は契約金額合計、見込みは各課からの予定価格合計を参照)	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称		単位	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(見込)
	ア	経費節減につながった割合	%	100	100	100	100	100
	イ							
	ウ							
	エ							

(2) 総事業費の推移			単位	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0
			一般財源	千円	8,508	14,581	9,874	9,500
			事業費計 (A)	千円	8,508	14,581	9,874	9,500
	人件費		正規職員従事人数	人	1	1	1	1
			延べ業務時間	時間	171	167	182	180
			人件費計 (B)	千円	722	700	755	747
			トータルコスト(A)+(B)	千円	9,230	15,281	10,629	10,247

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	一括購入することで、事務の簡素化、購入費の軽減を図るため。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは 5 年前と比べてどう変わったのか？	
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	